

# 毎回250人以上 採取80%

## 加東LC活動30年超

# 県内最多級の献血

加東ライオンズクラブが毎年2月、加東市民病院（加東市家原）前で30年以上にわたって献血活動を続けている。毎回、市民ら250人以上が訪れ、計80%前後の血液が集まる。献血バスが4台訪れる会場はまれて、バスによる地域住民対象の献血としては県内最多級という。協力者が多い秘密は、おれにもらえる卵2パックらしい。

（田中靖浩）

県赤十字血液センター 1日当たりの人数と血 月3日、加東では261（神戸市中央区）に 液量は、同病院前と姫 2人が訪れ、83・4%よると、バスによる地 路市内の会場が県内ト を採血した。域住民対象の献血で、 ツブを争っている。今



献血車内で採血する市民ら＝加東市家原（いずれも同市提供）



加東ライオンズクラブが献血協力者に贈る卵

回復に、地元の養鶏業者が生産した卵を渡し始めたらしい」と同クラブの亀田隆光会長は話す。その後一時サラダ油1度に替えたが、

## バスによる地域住民対象で 卵2パック贈呈も好評

あまり喜ばれなかった。再び卵へ戻すと献血者数が増え、2000年ごろには県内トップレベルに。ピークの02年には344人から177・2%を採血。卵を2パック用意したがいりず、途中で追加したという。

以前は400%の協力者に3パック、200%に2パック、血液の成分などの都合で採血できなかった人に1パックを贈った。今は採血者に2パック、できなかつた人に1パックを渡している。

同クラブの献血活動は1984年から、同病院前で毎年2月、その後市東条庁舎前で同9月ごろに行ってきた。昨年2月に同庁舎が廃止され、同1月から同市役所に場所を移した。市役所では今年から7月に行われる予定だ。

亀田会長は「卵の人氣もあるが、長年地道に協力を呼び掛けてきた結果、大きな意義を次の世代へ引き継ぎたい」と話している。